

アートで、
“関係性”をつくる。

CRULIIN

高森 琉碧 千葉 小鈴
齋藤 伊吹 遠藤 来美

■ 提 案

“ 私たちは、学生スタートアップとして
「アートのみち」
をつくり上げたいので
石巻市へ地域再興モデルを提案します ”

■ 解決したい課題・その先の未来

“まちの資源“があるのに活かしきれていない

「ただあるだけ」の資源



市民や来訪者が日常的に関わるきっかけつくる材料に

■ 解決したい課題・その先の未来

石巻にある空き家・空き店舗をどうにかしたい！

石巻出身の「若者」として、感じたこと



地元の資源を活用することで賑わいを

■ 解決したい課題・その先の未来

物足りなさを感じている若者たち

地元は好きだけど、夢中になれるものはない



当事者として“役割”を持つ経験をつくる

■ 解決したい課題・その先の未来

アート × 日常

で、若者と地元の関係性をデザインしたい！

ペルソナ

・背景：

- ・石巻市内の高校を卒業後、県内の大学に進学。
- ・地元は好き。友達もいるし、居心地は悪くない。
- ・でも、心のどこかで「何か面白いことないかな」「このままでいいのかな」という、漠然とした焦りや物足りなさを感じている。
- ・サークルやバイトはしているが、本当に夢中になれるものには出会えていない。
- ・InstagramやTikTokは毎日チェックする。お洒落なカフェをよく探している。

・行動と悩み：

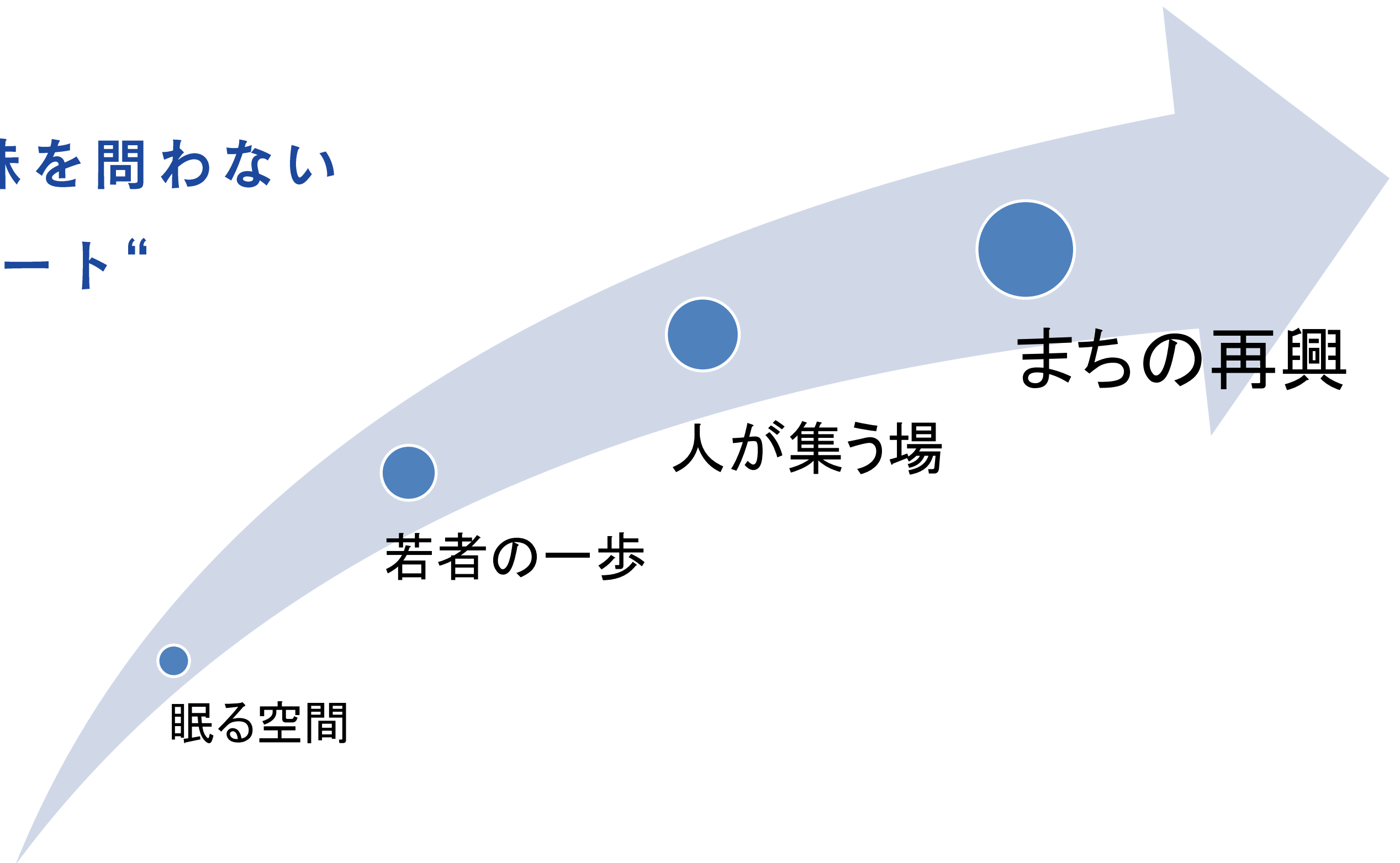
- ・休日は友達とカラオケをしたり、仙台まで遊びに行くことが多い。
- ・立町の商店街は「通り道」ではあるが、目的を持って行くことは少ない。「昔ながらのお店が多くて、自分たちには少し入りづらい」と感じている。
- ・アートは美術館にわざわざ行くほどではないけど、面白いデザインのTシャツや雑貨は好き。自分で何かを作るのは、少し苦手意識がある。
- ・「地域貢献」や「まちづくり」という言葉には、少しだけ「意識高い系」のイメージを持っていて、一歩引いてしまう自分もいる。



- ・名前： 佐々木 優希
(ささき ゆうき)
- ・年齢： 19歳
(宮城大学1年生)

■ 事業アイデアの概要

アートへの興味を問わない
“入り込めるアート”



■ 事業アイデアの概要

- ・ 作品コンペ
 - +α 応募した時点で芸大生等の指導を受けられる
 - 気軽にアートを教えてもらう場少ない
 - ・ 展示を見に来た人が、直接作品づくりに携われる
 - 永遠に完成しない作品
- (例)
- ・ 誰かの続きを書くプロジェクト (詩・絵・文章等)
 - ・ 陶芸

■ 今後のビジョン/フェーズ① 基盤づくり

● 空き家探し・若者チーム作り

.....

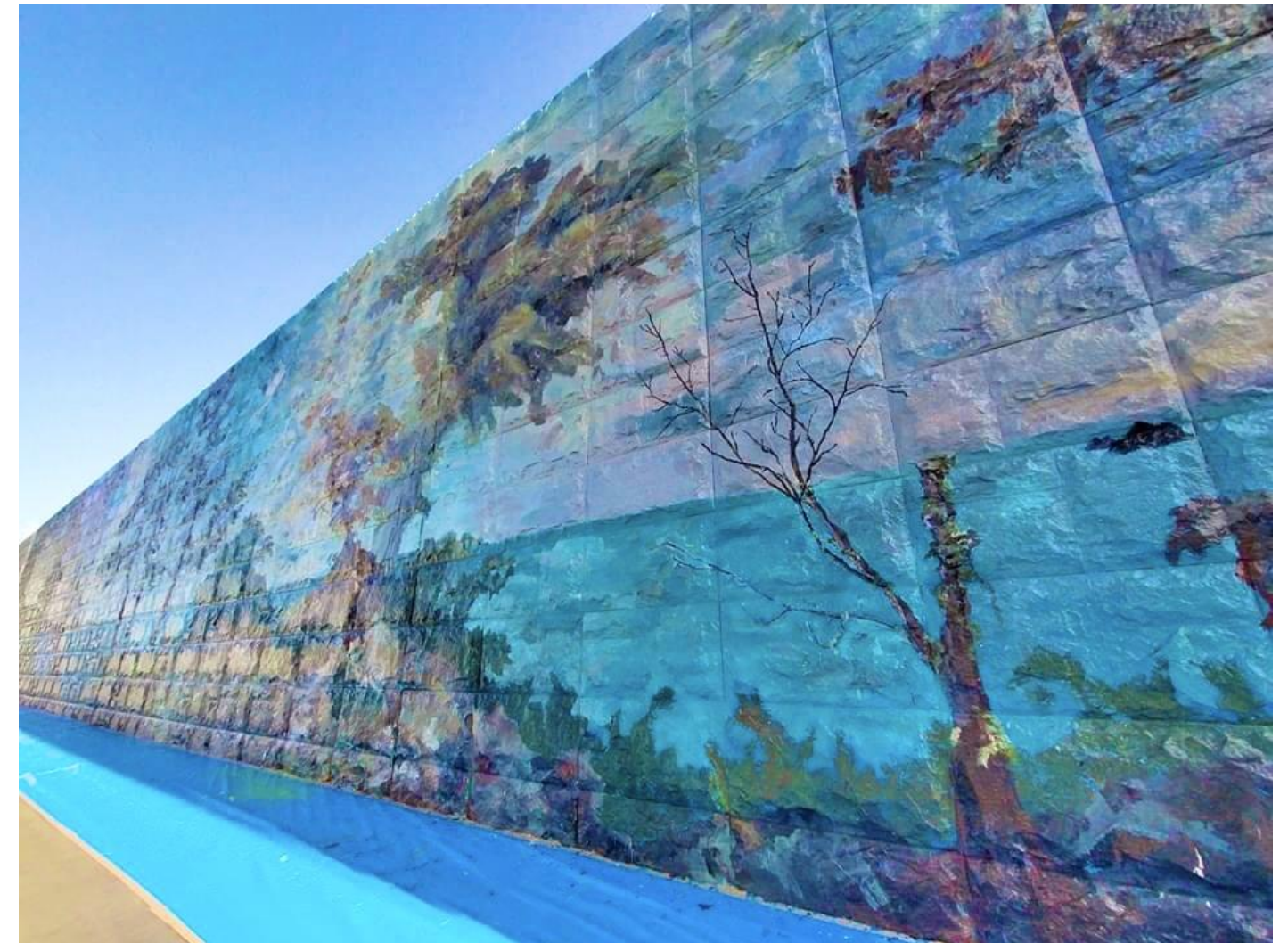
● まちの人への声掛け、取材

.....

● 小さなアート制作



まずは手法を確立、成功例をつくる！



■ 今後のビジョン/フェーズ②・③

- 石巻全域（桃生・河南・河北・北上・雄勝・牡鹿）
での横展開

②

- 石巻圏域（東松島・女川）への波及

③

- アートスポットが普及
↓
若者の自己実現の場が日常に！



■ 行政との連携案

①空き家情報の集約・提供の強化

不動産が扱っていない「眠っている空き家」



発見・活用できる！！

■ 行政との連携案

②公共の空間・設備の利用

例) かわまちオープンパーク



既存の建物を活用し、「古×新」から新たな価値の創出

1 回 開 催 あ た り の 概 算 費 用

項目	内容	概算費用
会場整備	安全対策（柵・通路整備）、簡易テント・机・椅子レンタル	10～20万円
アート資材	塗料・紙・木材・陶片・照明など、参加者分	5～15万円
保険	傷害保険・賠償責任保険（参加者・運営スタッフ含む）	1～3万円

合計：16～38万円／1回



■ 最後 に

“

描きかけのまちに、生きる。

”

ご清聴ありがとうございました